

高津区久本中心に広がる連携事例

パークシティ溝の口
山本美賢

自己紹介（パークシティ溝の口）

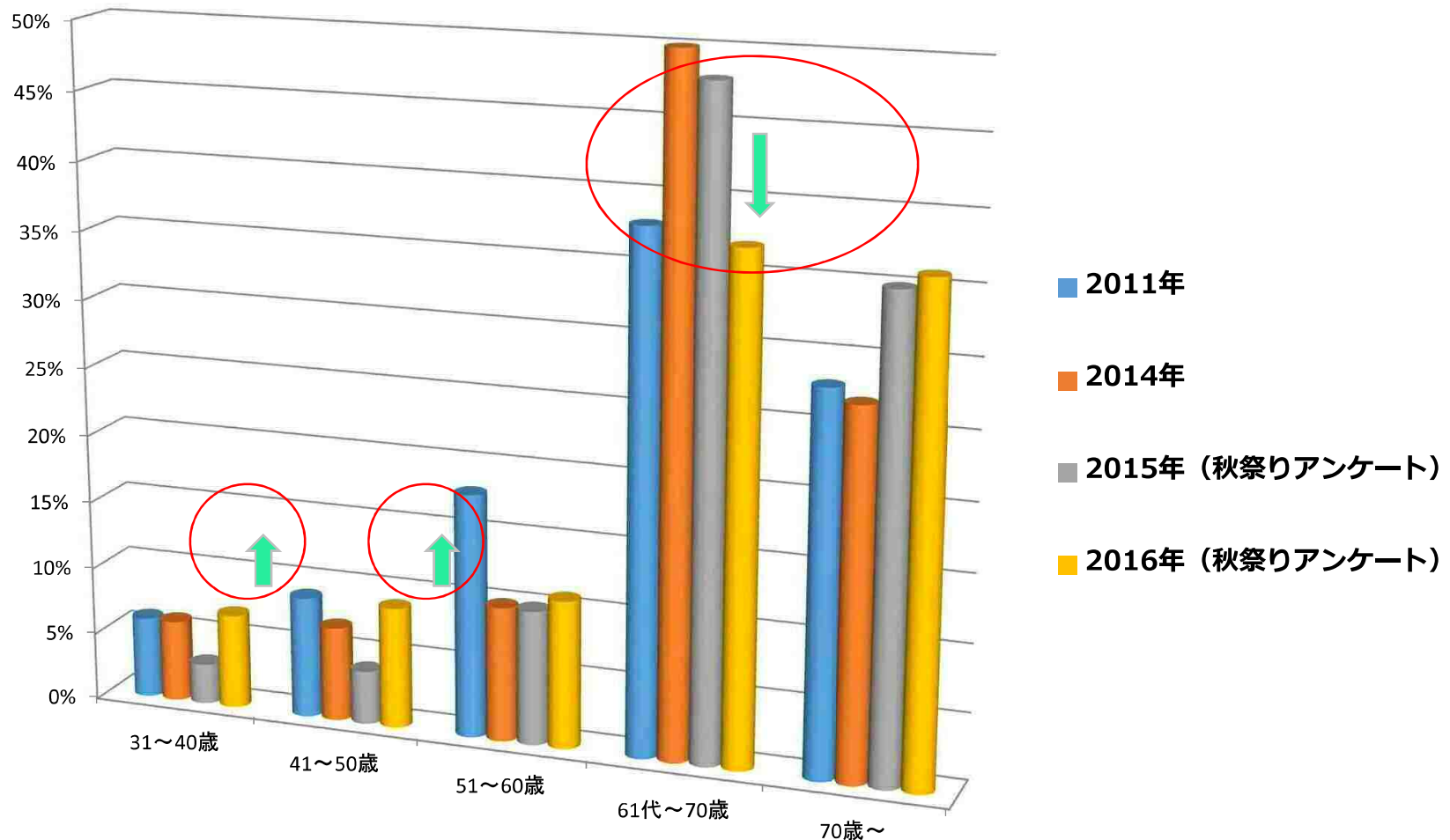


築年：1982年から5期に亘る（築35年）
敷地・建物：56,762㎡ 高層棟×5棟 低層棟×7棟
総戸数：1,103戸（うち賃貸数約100戸）
空き室：ゼロ

資産価値の下がらないマンションの悩み

築年数34年、恵まれた立地、環境などの恩恵で「資産価値の下がらないマンション」として時折りメディアに。それだけに終の棲家を希望する住民多数。

結果、**世帯主60歳以上が最大84%に（2015年）**。しかし2016年に入り新陳代謝が始まり**74%に**。



溝の口、久本マンション事情

パークシティと同じ小学校の久本小学区の代表的な大型マンション



溝の口、久本マンション事情

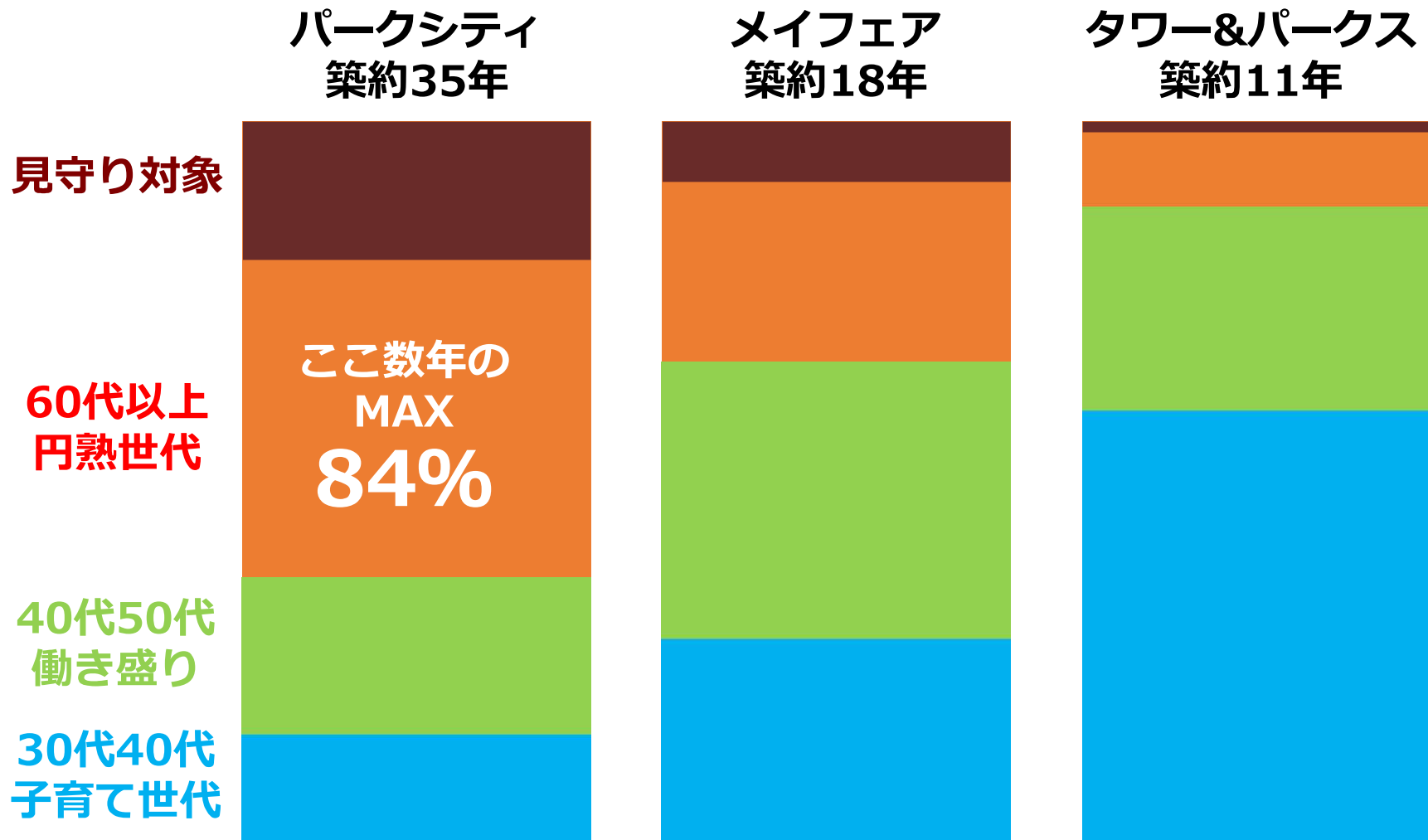
パークシティと同じ小学校の学区の代表的な大型マンション



**溝の口では
その近隣マンションとの
連携が進んでいます。**

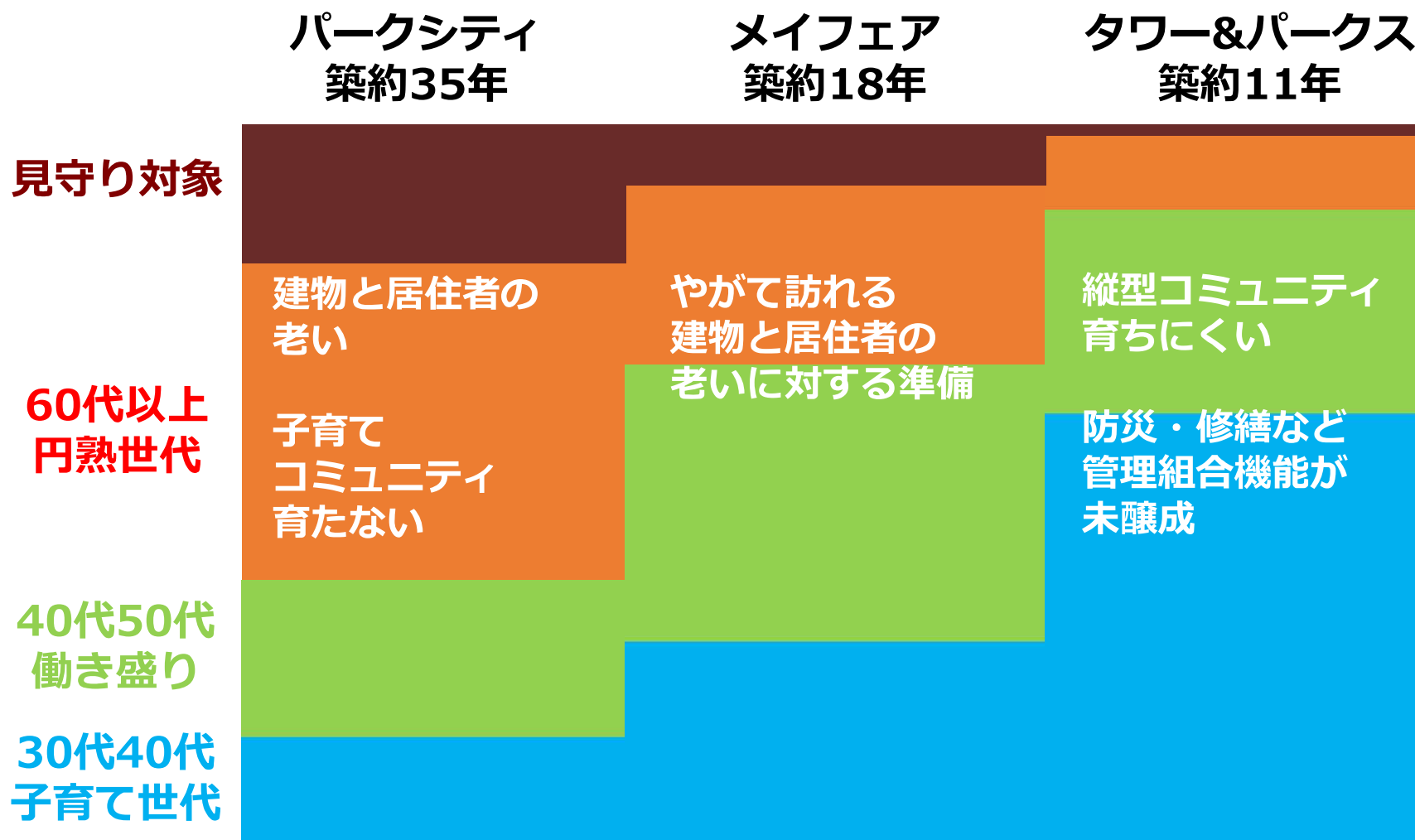
近隣マンションとの連携が進む

近隣マンション居住者層（一部は推察）



近隣マンションとの連携が進む

築年数の異なるご近所マンションの課題



近隣マンションとの連携が進む

課題の解決のために互いの「強み」を共有、「弱み」を補完し合う。すると「弱み」が「強み」に変わる。

パークシティ
築約35年

メイフェア
築約18年

タワー&パークス
築約11年

見守り対象

高齢対策◎
組合活動経験◎

防災◎

60代以上
円熟世代

修繕知見◎

機動力◎
地域との
コミュニケーション◎

40代50代
働き盛り

ママさん
情報伝播力◎

30代40代
子育て世代

子育て環境◎

近隣マンションとの連携が進む

課題の解決のために互いの「強み」を共有、「弱み」を補完し合う。すると「弱み」が「強み」に変わる。

パークシティ
築約35年

メイフェア
築約18年

タワー&パークス
築約11年



事例①久本3マンション合同炊き出しフェス

そんなご近所マンションと「炊き出しフェス」という防災イベントを3つのマンション合同で開催しました。



2016年6月



きっかけ

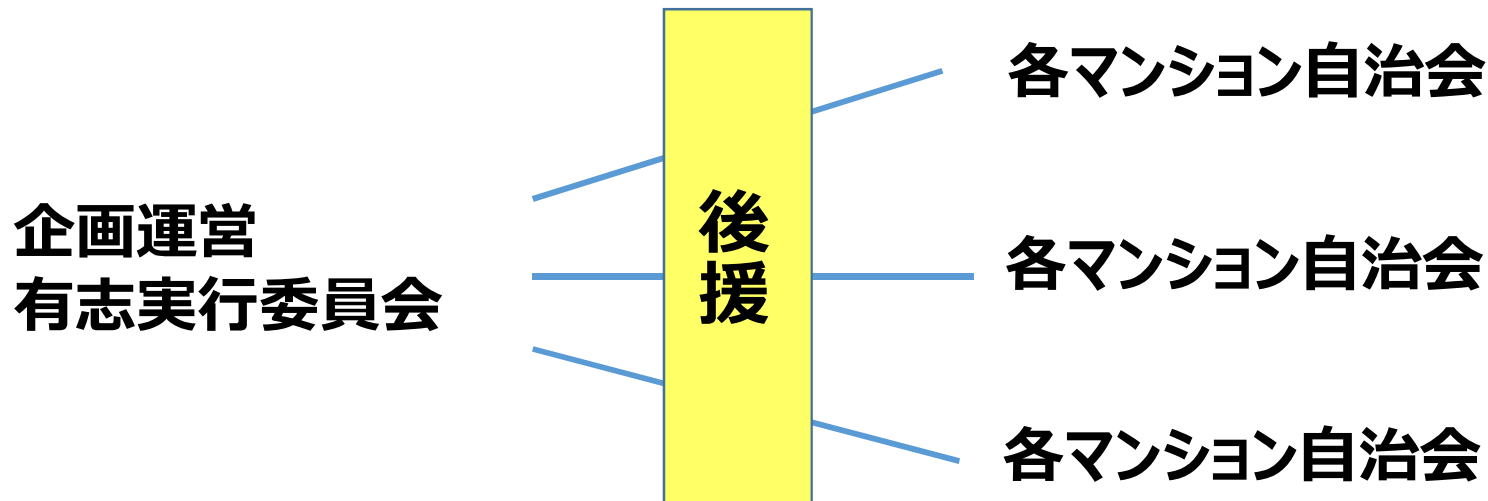


- ①お祭りの際に3つのマンションの理事、自治会長でパネルディスカッションを開催→2月に合同餅つき開催
- ②近隣のマンション住民有志で熊本、益城町に支援を行った。
ママさんのSNSにおっさんの機動力、センパイの知恵で迅速に効率的な支援ができた。（3日間で40万円、ダンボール85箱）
- ③支援先とリアルタイムでのやりとり。ご近所連携した炊き出しの大切さを実感。

炊き出しフェス目的と主催

- ① 美味しく！楽しく！実践的でお金をかけない！
地域連携を深め、防災減災を学べるフェスティバル
- ② 熊本益城町への直接支援→
現地の炊き出し事情→実践→追加支援

支援メンバー中心に3つのマンション30代から60代の住民有志で
実行委員会



炊き出し

3つのマンション



アルファ米
チャーハン



アルファ米おにぎり
熊本ふりかけ



加古川風
イカ焼き



地場野菜
豚汁

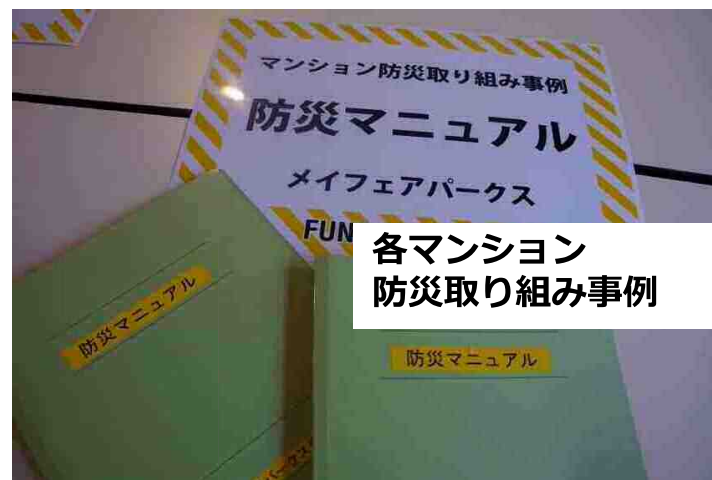


ドイツ風ひとくちソーセージ煮込み

防災ワークショップ、講話、展示



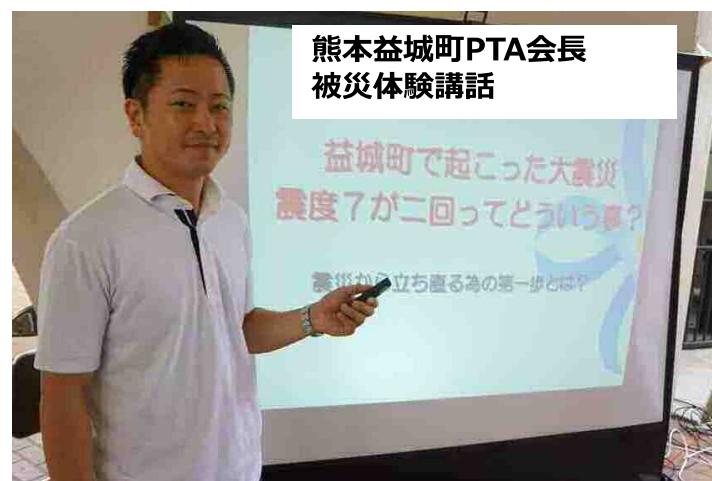
1/1100ダンボールジオラマDIG



FUN 各マンション
防災取り組み事例



ローリングストック料理教室



熊本益城町PTA会長
被災体験講話

無理ない開催の工夫

市の助成金を有効利用

防災訓練補助金
年間50,000円
+映像教材

10,000円

毎年未使用

20,000円

30,000円

第1号様式

担任

自主防災組織活動助成金交付申請書

年 月 日

(宛先) 川崎市長

自主防災組織名
代表者住所
代表者役職・氏名
生年月日
性別
電話

次のとおり、自主防災組織の活動を実施しましたので、活動助成金の交付を申請します。

助成対象区分	実施内容 (該当する項目をチェック)
防災訓練	<input type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 救出救助訓練 <input type="checkbox"/> 救命・救護訓練 <input type="checkbox"/> 避難・誘導訓練 <input type="checkbox"/> 情報収集・伝達訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 給食・給水訓練 <input type="checkbox"/> 避難所設営・運営訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 災害図上訓練 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/> 消防法第8条に規定する訓練 (消火・通報・避難) <input checked="" type="checkbox"/> 防災に関する資料の作成及び配布 <input checked="" type="checkbox"/> 防災に関する映像等の上映会 <input type="checkbox"/> 防災講演会 (ぼうさい出前講座) の実施 <input type="checkbox"/> 防災関連施設 (防災センター等) の視察 <input type="checkbox"/> その他 ()
防災知識の啓発活動	

実施日時 平成28年6月26日 (12時00分から15時30分まで)

実施場所 1-クジヤ溝ハロ E棟前 E棟宴会室

自主防災組織の構成世帯数	1,103 世帯	参加人数	100 人
申請額	30,000 円	既に助成を受けた額	0 円

指導担当機関 危機管理室 区役所 消防署 その他 (防災PT)

異力団員でないことを確認するため、本様式に記載された個人情報をご神奈川警察本部に照会することについて同意します。

30,000円

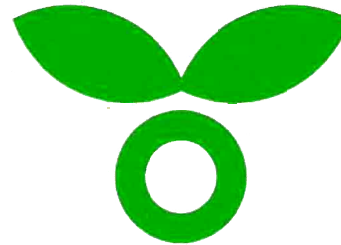
30,000円

30,000円

経験豊かな理事長、自治会長によるアイデアから知見共有し、アドバイスを受けながら
3つのマンションで申請

無理ない開催の工夫

近隣の企業などより物品等の協賛



ざっくり収支 助成金+協賛で約14万円 支出13万円

振り返り

- ・子育て世代、現役世代、円熟世代が均等に活躍
- ・外部メディア露出による住民への啓蒙
- ・防災＋フェス（祭り）のモデルケース化
- ※助成金活用含む
- ・マンション、自治体同士の知見共有加速
（ホームページ、防災等）

防災フェス@フィオーレの森 内容



アルファ※レシピ教室 試食



ローリングストック料理ワークショップ



ダンボールジオラマワークショップ



マイ減災マップワークショップ



セミナー災害とお金の話



参加テナントから出店費用@3000円
講師代、チラシ印刷代など

熊本益城町に学ぶ「炊き出し事情」を学ぶ会



熊本地震で支援をさせていただいたご縁から交流がはじまった益城町。自らも被災したにも関わらず、現地で避難所の内外で「炊き出し」によるボランティアを中心となり行った満田結子さん。被災直後から数ヶ月までの間に現地の炊き出し事情も変化していったそうです。食材、栄養、使いやすかった支援物資、避難所、お子さん、お年寄りなどなど。

地域防災にもっとも大事なものは…

**「日頃の生活の中で育まれる
お互い様精神」**

**「ママさんたちの軽やかで
生き生きとできる活躍の場作り」**

地域防災にもっとも大事なものは…

**「日頃の生活の中で育まれる
お互い様精神」**

**「ママさんたちの軽やかで
生き生きとできる活躍の場作り」**

近隣連携「共助」の副産物「溝の口減災ガールズ」

被災地支援、防災イベントなどを経て、溝の口の久本小学区のママさんたちで結成された減災活動チーム。



溝の口減災ガールズとは？

溝の口在住のママ数人で2016年2月の芋煮をきっかけに結成。

(誰でも、できるときに自由参加なのでメンバーは随時ウェルカム。)

震災時こそ、「食べなれた味」「おいしいと感じる食事」が心をほぐすということを被災体験者から聞き、納得。

常備品や、常備野菜などローリングストックを使った料理のワークショップを、必要に応じて開催しています。

基本は楽しく学ぶです！

2016年2月 溝の口のマンション合同イベントで芋煮

2016年6月 パークシティ溝の口の「炊き出しフェス」でローリングストック料理ワークショップ開催

2016年8月 川崎市総合防災訓練でワークショップ開催(稲田中学校にて)

2017年3月 川崎市宮前区の防災訓練でワークショップ開催(宮前区役所広場にて)

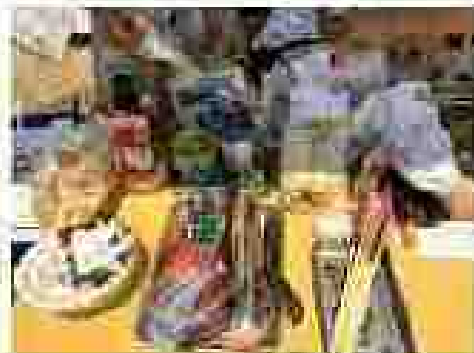
2017年7月 溝の口フィオーレの森Bousaiフェスにて開催

2017年7月 千葉流山市ポラス分譲住宅イベントにて開催

2017年10月 パークシティ溝の口防災訓練

以降 麻生区防災訓練 **高津区防災訓練** 宮前区防災フェス 中原区防災訓練

近隣連携「共助」の副産物「溝の口減災ガールズ」



減災クイズワークショップ

ローリングストック料理ワークショップ

エコ食器作りワークショップ



ご静聴ありがとうございました。